

# 出張報告

報告日 令和6年3月28日

会派名	柏崎の風
報告者氏名	星野正仁、春川敏浩、山本博文、柄沢均、阿部基、上森茜、近藤由香里、田邊優香、三嶋崇史
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input type="checkbox"/> 研修会 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	自由民主党本部 幹事長 訪問
日時	令和6年3月28日（木） 11:45～11:55
場所 （会場）	自由民主党本部（東京都千代田区永田町 1-11-23）
調査項目等	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望
概要	<p>令和6年3月に柏崎市議会および刈羽村議会において「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する請願」を採択したことを受け、国の新規制基準に適合する号機の早期再稼働を実現するための要望を行った。</p> <p><b>【茂木 敏充 自由民主党幹事長】</b> 我が国のエネルギー安全保障、GX（グリーン・トランスフォーメーション）、地域経済活性化等の観点から、国の新規制基準に適合した柏崎刈羽原子力発電所の早期再稼働は必要である。 柏崎刈羽原子力発電所は地元に電力供給していないため、再稼働しても地域の電気料金が安くなるわけではない。再稼働による地元へのメリットを示さないと、立地自治体の周辺地域や新潟県に理解が広がらないと認識している。 再稼働の必要性についての理解促進、原子力防災のためのインフラ整備、地域経済活性化の取組を政府与党としてしっかり進めていく。 東京電力HD（株）には、大事な時期にミスやトラブルによって信頼を崩すことのないよう、緩むことなく再稼働に向けた準備を進めてほしい。</p>
所感等	<p>短い面談であったが、茂木幹事長からは、請願の趣旨である「国の新規制基準に適合すると判断された号機の早期再稼働」の必要性、地元合意に向けた課題について理解を示していただいた。</p> <p>国のエネルギー政策を実現するためには、地方との連携が不可欠である。政府与党として、自由民主党新潟県連および新潟県議会に対し、国策への理解と協力を強く求めていただくことを期待したい。</p>